

～ウィズ便り～

令和6年 春号

一年の中でも過ごしやすい季節が訪れ、新緑や初夏を彩る花々が私達の目を癒し楽しませてくれます。ぽかぽか陽気に包まれながら普段よりも少し足を延ばしてお出かけしてみませんか？

ウォーキング専用の2本杖もおすすめです。両手で支持することで、バランスの良い姿勢で背筋が伸び、歩幅も広がり、運動効果もUPします。在宅で座ったままできるポール体操も紹介されていますので、ぜひ参考にしてみてください。

↓ メーカーHPより引用



ソフトあんしん2本杖
10,450円（税込）

介護の現場から…シリーズ～介護すること、されること～（39） 安心して退院を迎えるために

2月末、吹田市民病院の職員（理学療法士、作業療法士、看護師、患者支援センター相談員）に向けて、ご退院時の支援として、ご自宅で利用できる介護保険サービスについての勉強会を開催させて頂きました。病院を退院される際、福祉用具を利用したり、手すりを取り付けるなど、ご自宅の住環境整備が必要な場合が多くあります。退院してから準備するとなると、設置や工事に時間がかかり、ご自宅での生活にすぐに対応できない場合があります。退院前にお身体の状況などを共有することで、その人に合った福祉用具の選定や住環境整備の調整ができるようになり、在宅生活を想定した福祉用具を退院前に試していただくこともできます。医療と在宅サービス事業所が連携をとることで、ご本人も安心して在宅復帰に臨めることをお話しました。例えば・・・実際の退院時の連携のケースをご紹介いたします。



65歳の女性Aさんは、膠原病の持病をお持ちで、起立性低血圧もあり、昨年末に室内でふらつき転倒され、左大腿骨骨折により入院されます。3月末の退院に向けて、妹様が地域包括支援センターに相談され、福祉用具専門相談員に連絡が入りました。

退院に向けて、まずは自宅の環境を確認する必要がある為、2月末、妹様とご自宅に訪問させていただきました。ご本人の状態を妹様から聞かせて頂き、玄関上がり框の30cmの段差やベランダ出入りの段差、トイレ、浴室や居室内移動用の手すり、室内用歩行器、外出用歩行器など様々な用具の必要性が考えられました。

具体的に退院日が決まった3月中旬、今度はご本人と入院先の病院の理学療法士、退院後から担当されるケアマネジャーとご自宅で再度家屋評価を行いました。前回一度ご自宅を拝見していたので、最低限必要と思われる福祉用具を持参し、実際にご自宅で福祉用具を設置して、退院後の生活を実践していただくことができました。理学療法士の方に同席いただき、自宅内の動作を確認し、トイレの手すりは不要となり、室内の移動も病院で使用している同タイプの歩行器で安全に移動できることが確認できました。退院直後から必要となる、玄関の踏台付き手すりや室内用歩行器はその日のうちに納品させていただき、屋外用の歩行器は病院に持ち帰り、退院まで病院で練習することとなりました。退院日にはベランダ出入口に踏台付き手すりを設置し、家事を含む日常生活全ての動線において、お一人の生活が安全に自立して行えるようになりました。

入院前は近くの保育園に通うお孫様の送迎に行かれたり、一緒に夕食を共にされたりと、ご家族のサポートをされていたAさん。退院後間もない為、送迎はまだ難しいですが、簡単な食事をつくり、週に何日かはお孫様と一緒に夕食を共にされているようで、賑やかな食卓の風景が目に浮かびます。退院後もふらつきはあるようですが、室内用の歩行器があることで、安心して自宅内の移動ができるようになりました。リハビリにも意欲的に取り組まれ、お孫様の保育園送迎など、元の生活に戻られる日を目標に筋力アップに励まれています。



室内用歩行器



ベランダ手すり

今後も病院や多職種の方と連携し、在宅復帰をされる利用者様が住み慣れたご自宅で、自分のやりたいことを続け、安心して暮らしていくように、福祉用具や住環境整備を通してサポートをしていきたいと思います。

株式会社 ウィズ 吹田
株式会社 ウィズショールーム

福祉用具専門相談員 梶野純
福祉用具専門相談員 記虎邦之

作業療法士・フッチー先生のためになるつぶやき

春だ！車いすでも行ってみたい大阪の街

今回は、大阪のバリアフリー情報、おすすめスポットをご紹介したいと思います。

昭和の時代は、杖や車いすでお出かけする所も少なく、公共交通機関のアクセスの問題、道路の問題など、本人以外のバリアが非常に多かったように思います。また、周りの人の理解不足から人権が守られていないこともありました。現在も介助犬などへの理解も得られないなど、様々な心のバリアフリーが存在します。

しかし、時代は変化し、バリアフリー法などにより、公共機関や建造物、そこにたどり着くまでの道路もバリアフリー化が進みました。また、周りの人の意識も変わってきています。例えば、駅にはエレベーターが設置され、そこから近くのビル（商業施設やクリニック）までのアクセスがしやすくなりました。

私が高校生の時（1980年代）、友人が障がい者で車いす生活でした。外出時の困難としては、段差や階段、そしてトイレの問題で、外出に制限があり、仲間で抱えて階段を昇降していたのを記憶しています。

しかし、現在は電動車いすを用いて、自分一人で公共交通機関を利用し、自分の好きな所に出かけ、自由に行動しています。

この便りを読んで下さった皆様、この春にお出かけしてみませんか？外出に少し不安がある方にも安心してお出かけできよう下記の情報を参考にしてみてください。インターネットでも様々な情報が配信されています。

その中で、「介護旅行ネット」https://kaigo-ryoko.com/articles/osaka_recommend_spots/大阪のバリアフリー観光のおすすめスポット35選の一部をご紹介致します。

- 海遊館 車いすの貸し出しがあり、介助犬でも入館できます。館内のほとんどがスロープで車いすをご利用のお客様にもお楽しみいただけます。
- あべのハルカス おすすめは最上階（58～60階）の展望台「ハルカス300」で、ガラス張りの空中回廊から大阪平野を360度見渡すことができます。車いすの貸し出しがあります。
- 天王寺動物園 バリアフリー楽々周遊コースがあります。
- USJ 障がいのある方向けの冊子があります。
- 大阪城天守閣 最上階まで車いすで行くことができます。車いす用のお手洗いは、館内2階に1箇所、本丸広場内には2箇所あります。車いすは天守閣で5台常備しています。
- なんばグランド花月 館内共有スペースには、エレベーターを設置。バリアフリーでスムーズに劇場の中まで行くことができます。
- 造幣局博物館 車いすユーザー、健常者の別なく見学することができます。
- 万博記念公園 車いす貸し出しなど、ホームページで各施設のバリアフリー情報をご覧いただけます。

詳しくは、各観光地のホームページ若しくはお電話にてご確認ください。私のおすすめは、なんばグランド花月で、たくさん笑って過ごすか、万博記念公園を散策など如何でしょうか？万博は四季折々のイベントや日本庭園がありますので、心癒されます。

外出したいけど、どうしようと悩まれている方は、是非とも、担当の福祉用具専門相談員にご相談ください。

お出かけをサポートする福祉用具♪

軽e(かるいー)
NAH-U2Wタイプ
介護保険福祉用具貸与対象商品
月額レンタル料
1割負担 2,500円
2割負担 5,000円
3割負担 7,500円



電動モーターが車いすの介助操作をアシスト。静音モーターのアシストにより、坂道や芝生、砂利道や長距離も楽々と押すことができます。介助者の歩くスピードに合わせてアシストするので、安心です。



ミシェル WAW22

介護保険福祉用具貸与対象商品

月額レンタル料
1割負担 350円
2割負担 700円
3割負担 1,050円

本体幅48cmとコンパクトなので、狭い通路でも扱いやすく、見た目もおしゃれな歩行器です。

4点可動式 オン・オフさん

介護保険福祉用具貸与対象商品

月額レンタル料
1割負担 100円
2割負担 200円
3割負担 300円

ご購入ご希望の方はお問い合わせ下さい。

脚部が可動することで、地面に接しやすくなります。坂道などでも安心。脚部は可動固定と切り替えが可能。



お問い合わせ先

株式会社 ウィズ

本社・吹田	〒564-0042	大阪府吹田市穂波町19-25
大阪西営業所	〒550-0014	大阪市西区北堀江4-17-13
旭区ショールーム	〒535-0013	大阪市旭区森小路2-2-13
東大阪センター	〒577-0012	東大阪市長田東3-2-2
東住吉営業所	〒546-0013	東住吉区湯里2-18-11-101
東京営業所	〒101-0032	東京都千代田区岩本町3-5-2-702
横浜営業所	〒232-0056	横浜市南区通町2-33-2-102
京急上大岡店	〒233-8556	横浜市港南区上大岡西1-6-1-7階

お気軽にお問合せ下さい

こちらのWEBサイト
をご覧ください →



LINE公式アカウント→



オンラインショップ→



06-6310-6262
06-6536-9970
06-6955-6400
06-6748-8688
06-6707-0788
03-5821-8572
045-730-6255
045-848-7297